

努力事項解説 その2 （小学校特別活動）

活動内容（1）「学級や学校の生活づくり」の内容を十分に展開するために課題とされていることについて、どのようにしていけばいいか考えてみます。

十分に展開するために、次の課題を解決していきましょう!

8 司会や記録などの役割を輪番制で行っていますか？

計画委員会は輪番で担当し、教師が助言しながら、全員が経験できるように配慮することが大切です。

（小学校学習指導要領解説特別活動編 P.52）

話し合い活動の計画を作成し運営するのは「計画委員会」の児童です。また、話し合い活動を行うときの「司会」や「記録」を担当するのも計画委員会の児童です。

「計画委員会」の児童は、教師の適切な指導の下、放課後等に話し合いを持ち、議題としてふさわしいものを選んだり、「司会」を担当し、児童から出されるさまざまな意見を集約し、折り合いを付けたりして、学級としての意見をまとめていきます。この「計画委員会」の児童を固定してしまうと、このような大変重要な役割を一部の児童しか体験することができなくなってしまいます。これでは、学級活動（1）のねらいを達成することも難しくなってしまいます。

ですから、「計画委員会」の児童を輪番制にして、話し合い活動の計画や準備、運営を児童全員に体験させていくようにしましょう。



今回は、「9 学級活動（1）に充てる時間が（2）より多いですか？」について考えていきます。

8月9日（金）頃アップの予定です。